

英語

東京大学 (前期) 1/2

<全体分析>

試験時間 120分

解答形式
記述式とマーク式の併用。

分量・難易 (前年比較)
分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)
難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴
読解総合、聞き取り、英作文、文法・語法、英文解釈の各分野から出題されている。

その他トピックス
東大では出題に細かい変化があるのが通例だが、2021年度は2020年度とほぼ同形式の出題であった。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1(A)	読解総合	「10代の若者の気質の変化」 (319 words)	英文の内容を70~80字で要約する問題。本文の内容・展開は比較的把握しやすいが、論点を取捨選択し制限字数以内で答案をまとめるのにやや苦勞する。 《出典》 Christian Jarrett “How our teenage years shape our personalities” <i>BBC future</i> (11th June 2018)	標準
1(B)	読解総合	「AIと芸術の未来」 (856 words (本文 748 words + 空所 7 words + 選択肢 101 words))	2020年度同様、文補充問題(ア)と語句整序問題(イ)が出題された。(ア)は5箇所、文頭からではない空所も含まれている。空所前後の手がかりを正しくつかめば迷わずに選べる。ダミー選択肢は1つ増えて3つ。(イ)の語数は1語減って7語。little more thanの後に動詞の原形を配置することに気づけたかどうかポイント。 《出典》 Ahmed Elgammal, “The Robot Artists Aren’t Coming”, <i>The New York Times</i> (May 27, 2020)	標準
2(A)	英作文	意見論述 (60~80 words)	「あなたにとって暮らしやすい街の、最も重要な条件とは何か」に関して、理由を添えて書くことが求められた。2020年度より取り組みやすくなった。	標準
2(B)	英作文	和文英訳	木田元『新人生論ノート』からの引用(一部改変)を英訳することが求められた。一部、内容を汲んで表現を工夫しないといけない箇所があった。	やや易
3(A)	聞き取り	「絵画の贋作に関するインタビュー」 (485 words)	司会者による研究者へのインタビュー。「あてはまらない」ものを選ぶ設問が1題出題された。(10)の正解が決めづらい。	標準
3(B)	聞き取り	「絵画の贋作についての会話」 (545 words)	(A)とは異なる司会者と、(A)で登場した研究者との会話。内容は3(A)に関連している。従来登場人物は計3名であることが多かったが、2021年度は話者が計2名であった。「あてはまらない」ものを選ぶ設問が1題出題された。	標準
3(C)	聞き取り	「文明の崩壊の歴史と今後」 (547 words)	話者1名による講義。語句注がつけられていた。2020年度に比べ、全体として選択肢が長くなった。「あてはまらない」ものを選ぶ問題が2題出題された。	標準

英語

東京大学（前期） 2/2

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
4(A)	文法・語法	正誤問題 「人間は最初に家畜化された動物か」 (464 words)	2019年度、2020年度に続き、正誤問題が出題された。判定がやや難しいものも含まれている。 《出典》 Colin Barras, “The tamed ape: were humans the first animal to be domesticated?” <i>New Scientist</i> (21 February 2018)	標準
4(B)	英文解釈	下線部和訳 「発話されないこと」 (222 words)	2020年度は下線部が3つとも長かったが、2021年度は下線部（イ）が短めだった。おおむね文構造は把握しやすく、日本語にしやすい。 《出典》 Per Linell, <i>Rethinking Language, Mind, and World Dialogically</i> (2009)	標準
5	読解総合	「人知れず人のために仕事をするについて」 (977 words)	2021年度はエッセイ色の強い素材からの出題となった。2019年度、2020年度に続き、記述式の説明問題が2問、語句整序問題が1問出題された。 《出典》 Elin Hawkinson, “This Will Only Take a Moment” <i>New England Review</i> , Volume 41, (2020)	やや易

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・東大は、設問形式に毎年のように変化がある。2021年度は2020年度と同形式の設問だったが、2022年度も同形式とは限らない。よって、過去の多様な形式を踏まえて、さまざまな設問に取り組み、形式の変化に対応できるようにしておく必要がある。東大英語の攻略には全般的に以下のような対策をとっておかなければならない。
- ・読解に関しては、設問形式にある程度の変動はあるものの、「文脈把握力」を主に要求している点では、根本的な部分に変わりはない。要求された課題を念頭に置いて、一定以上のスピードで英文を読み解き、必要な情報をまとめる練習が有効である。また、日本語表現能力を高めることも怠ってはならない。
- ・作文に関しては、基本的な知識の正確な運用が求められている点は変わらない。今後も形式やレベルの変動があることは予想されるので、多様な形式で練習を積み、添削指導を受ける必要がある。
- ・リスニングに関しては、書き取りの練習なども取り入れ、基本的な聞き取り能力を養うことに加え、過去問演習を通して情報を整理しながら話の展開をつかむ力を養うようにしよう。